

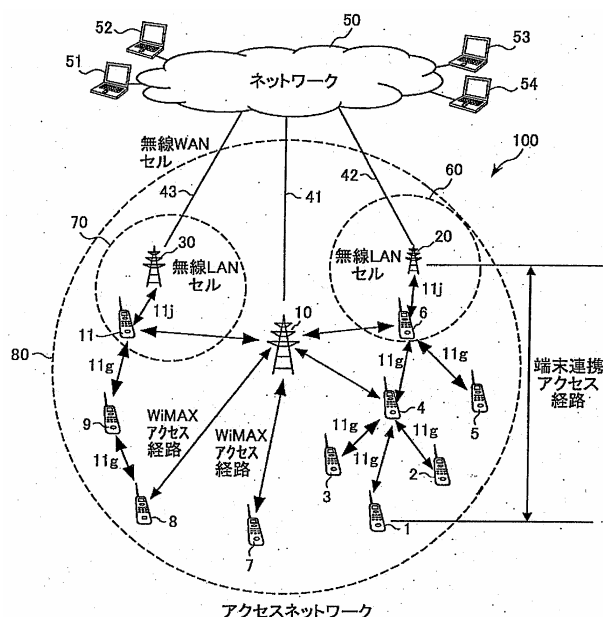
技術の名称

無線通信ネットワーク

適用分野

携帯電話、PHS、無線LAN、ZigBee、近距離無線通信システム、コグニティブ無線通信

- 目的 コグニティブ無線ネットワークの通信効率を向上させる。
- 効果 本発明によれば、複数の無線モジュールと送信先との間で確立される複数の無線経路における全体の通信負荷が最小になるように無線通信が行われるので、コグニティブ無線ネットワークの通信効率を向上させることができる。
- 技術概要 本発明は、第1の無線モジュールと第2の無線モジュールと通信制御手段とから構成されており、第1の無線モジュールは、マルチホップにて無線通信を行う第1の無線システムを用いて第1の基地局にアクセスし、第2の無線モジュールは第1の無線モジュールとは異なる第2の無線システムを用いて第1の無線モジュールと並行して第2の基地局にアクセスし、通信制御手段は、第1の無線モジュールが第1の基地局との間で確立する第1の無線経路と、第2の無線モジュールが第2の基地局との間で確立する第2の無線経路とにおける全体の通信負荷が最小になるように第1、第2の無線モジュールにおける無線通信を制御する。

■ 特記事項,図
など

- 主たる提供特許 特許等の名称 : 無線装置およびそれを備えた無線通信ネットワーク
登録番号 :
出願番号 : 特願2007-124095 出願日 : 平成19年5月9日
公開番号 :
- 実施実績 ○有、無 ■ 提供形態 ○実施許諾、×権利譲渡

お問合せ先 株式会社 国際電気通信基礎技術研究所(ATR) 経営統括部 知的財産チーム
〒619-0288 京都「けいはんな学研都市」光台二丁目2番地2
TEL 0774-95-2521 E-mail ; patent@atr.jp